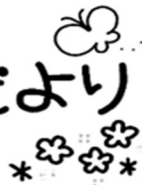




りすぐみだより 6月



2025年 6月1日

尚徳福祉会 松が丘保育園

新年度になって2か月が経ち、子どもたちはより伸び伸びと自分らしさを出してくれるようになりました。「どうして〇〇するんだろう」と、日々子どもたちの姿から考え、環境を整えているところです。今回のおたよりでは、りすぐみの子どもたちの園でのエピソードをご紹介します。平成30年に改訂された最新の保育所保育指針（ご入園児に配布したもの）では、保育所が乳幼児教育をする機関として初めて明示されました。何ををもって「教育」とするかにおいて、当法人は「主体性」を大切にしています。クラスでも、子どもたちの主体的な遊びや活動から、より学びが広がるような環境づくりをしています。エピソードを読んでいただいて、園での様子を思い描いていただくと共に、エピソードがどんな「学び」に繋がっているか、思いを共有できたらと思います。



●6月の予定●

- 4日（水） 乳児身体計測
- 11日（水） 危機管理訓練
- 19日（木） 水遊び前健診
- 26日（木） 歯科健診
- 27日（金） 避難訓練



●6月のねらい●

- ・好きな遊びを保育者や友達と楽しむ。
- ・水や砂などに触れ、感触を味わおうとする。

<お願い>

- ・今後、衣服の着脱を自分でしようとする姿が見られると思います。お子様の洋服は、「自分で着脱がしやすいもの」にしましょう。
- ・爪を切りましょう。かどの鋭さでも切れることがあります。必要に応じてやすりがけもしていただくと安全です。
- ・持ち物全てに記名をお願いします。
薄くなっていたり、記名がなかったりするものがあります。ご確認ください。



<主体性とは？>

～なぜ？どうして？子どもたちのエピソード～

●のぼりたい！飛び降りたい！

棚や机や段差を昇ったり、降りたりしたい姿があります。きっと子どもたちは「挑戦したい」気持ちがあるのだらうと、できるだけ遊びの中でマットなどを使い、「のぼる」「飛び降りる」動きのある環境で遊べるようにしています。「挑戦」から子どもたちは多くのことを学んでいるところです。

●自分の！友達のものも欲しい！

「自分のもの」を大事に遊ぶシーンが増えました。同時に「友達の使っているもの」を欲しが場面も増えました。おもちゃを巡ったいざこざも…。保育者は自分のものにしたい気持ちと、友達のものを欲しい気持ちの両方に「共感」したり、見極めながら仲裁して、代わりのものや他のものを提案したりしています。共感されることで子どもたちは自己肯定感（あるがままの自分を大切にできる気持ち）を育ていき、自分のものにできた経験を獲得して、友達に譲ったり、一緒に使ったりする気持ちが芽生えていきます。

●「できた！」

着替え BOX に付けておいた洗濯ばさみ（空のもの）を取ろうと手にとった〇〇さん。試行錯誤していたら、偶然洗濯ばさみが取れ、にこ～っといい笑顔。手を挟まないように安全に配慮し見守っていると、コツを掴んで外せるようになり、その度嬉しそうに「どうぞ」してくれました。危ないと止めていたら、この笑顔は見られなかったらと思うました。保護者会でもお話しした、「待つ」という大切さの場面ですね。